

千葉大学医学部附属病院で シスプラチン併用放射線療法を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年12月26日

薬剤部、婦人科

現在、薬剤部では、子宮頸がん、卵巣がん患者におけるシスプラチン併用放射線療法を実施後の検査値における研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2023年1月から2025年12月の間に子宮頸がん、卵巣がんに対して、シスプラチン併用放射線療法を実施された方

1. 研究課題名

「婦人科がんシスプラチン併用放射線療法症例における低マグネシウム血症の調査」

2. 研究期間

2025年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

目的：婦人科がんに対してシスプラチン併用放射線療法を受けた患者について、血清マグネシウム値がどのくらい測定されているか、またマグネシウムが不足していないか調べることを目的としています。さらにマグネシウムを測定していない場合に起こることがある血中のカリウム値の低下を手がかりに、マグネシウム不足が見逃されていないかどうかも確認します。これらの結果をもとに、より安全に治療を受けていただくために、マグネシウムをどのように測定するのが良いかを検討し、今後の診療に役立てることを目的としています。

方法：2023年1月から2025年12月までの間に、当院にてシスプラチン併用放射線療法を実施された方のデータを調べて、検査値をもとに改善が行えないか検討し実践しま

す。本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換え解析がおこなわれます。

4. 研究に用いる情報の種類

電子カルテより年齢、性別、身長、体重、既往歴、併用薬、生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果、シスプラチンの投与量、放射線の量を抽出して解析を行います。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：薬剤部 部長・教授 石井 伊都子

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院薬剤部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

薬剂部 副部長 准教授 内田雅士

043 (222) 7171 内線6494